

(2022.12)

(情報公開文章用)

作成日 2026 年 8 月 26 日

第 1 版作成

2010 年 4 月 1 日～2026 年 12 月 31 日の間に

当院または情報提供施設において、がん治療に関連する精子採取術を受けられた方へ

—「男性がん患者・がんサバイバーに対する妊孕性温存および精子採取術の検討」へのご協力のお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、承認を得た後、学長および病院長の許可を得て実施します。

研究責任者 川崎医科大学 泌尿器科学 講師 杉山 星哲

1. 研究の概要

がん治療の進歩により、治療後の生活の質とともに、将来子どもをもつ可能性を守る支援が重要になっています。男性では、がん治療前に射出した精子を凍結保存する方法が基本ですが、精巣腫瘍や化学療法の影響により精子を採取できないことがあります。その場合、精巣の組織から精子を探して採取する手術（onco-TESE または micro-TESE）が行われることがあります。本研究では、これらの手術による精子採取の成績と、採取の成否に関係する要因を調べ、男性がん患者・がんサバイバーに対する妊孕性温存および男性不妊診療の改善に役立てることを目的とします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2010 年 4 月 1 日～2026 年 12 月 31 日の間に、川崎医科大学附属病院、川崎医科大学総合医療センター、岡山二人クリニックまたは厚仁病院において、妊孕性温存またはがん治療後の挙児希望を理由に、onco-TESE もしくは化学療法後 micro-TESE を受けられた男性がん患者の方、約 30 名を研究対象とします。年齢による除外は行いません。

2) 研究期間

倫理委員会承認日（実施許可日）～2028 年 3 月 31 日

3) 研究方法

研究者が診療録に記録された情報を収集し、onco-TESE と化学療法後 micro-TESE のそれぞれについて、精子を採取できた方の割合を調べます。また、精子を採取できた方とできなかった方の年齢、がんの種類・治療内容、精液検査やホルモン検査の結果などを比較し、精子採取の成否に関係する要因を検討します。本研究のために新たな診察、検査、治療は行いません。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、原疾患、がん治療の内容、化学療法終了後から手術までの期間、精液検査所見、内分泌検査所見、手術方法、精子採取結果、手術前後の合併症、採取精子の凍結保存・使用状況、把握可能な場合の生殖補助医療成績 等

5) 外部からの情報の提供

岡山二人クリニックおよび厚仁病院で診療を受けられた方の既存診療情報は、氏名、生年月日など、個人を直ちに特定できる情報を削除して研究用の番号に置き換えただうえで、川崎医科大学へ提

供されます。情報は、パスワードを設定した電子媒体の手渡しまたは追跡可能な方法による郵送、もしくは施設間で指定された安全な電子的方法により提供します。対応表は各情報提供施設で適切に管理し、川崎医科大学には提供しません。

6) 情報の保存と二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究結果の最終公表から5年間、川崎医科大学泌尿器科学実験室で保存します。電子情報はパスワード等で保護されたコンピューターに保存し、紙の資料がある場合は施錠可能な保管庫に保存します。本研究で収集した情報を別の研究に利用する場合は、あらためて倫理委員会の承認を得て、必要な情報公開等を行います。

7) 研究計画書および個人情報の開示

ご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書などの資料を閲覧または入手することができますので、下記の連絡先までお申し出ください。

本研究では、氏名、生年月日など、あなたを直ちに特定できる情報を除いて解析します。研究結果は学会や学術雑誌等で公表しますが、個人が特定されることはありません。

本研究に関するご質問がある場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることを望まれない場合は、2028年2月29日までに、あなたが診療を受けた施設または下記の連絡先へお申し出ください。その場合も、今後の診療や病院サービスにおいて不利益を受けることはありません。ただし、すでに個人を特定できない形で解析済みの場合や、研究結果が公表済みの場合は、情報を取り除くことができないことがあります。

<問い合わせ・連絡先>

施設・診療科：川崎医科大学附属病院 泌尿器科

氏名：杉山 星哲

電話：086-462-1111（平日8時30分～17時30分）

ファックス：086-462-7897

E-mail：s.kin@med.kawasaki-m.ac.jp

<既存情報の提供のみを行う機関>

岡山二人クリニック 提供責任者：羽原俊宏 医師

厚仁病院 提供責任者：松山毅彦 医師

3. 資金と利益相反

本研究において、研究資金の受入および使用はありません。研究を行うためにスポンサー（製薬会社等）から資金などの提供を受けることで、研究結果の判断に利害が生じる状態を利益相反といいます。本研究に関する利益相反の有無および内容は、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理します。